

## 提案概要

(北九州市立ユースステーション指定管理者)

団体名：ユースの未来共同事業体

### 1 指定管理者としての適性について

(1) ユースステーションの管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針	
<b>【理念】</b>	<b>若者と共に進化する北九州市立ユースステーション</b> ～持続可能な未来の探究・共創拠点を目指して～
<b>【基本方針】</b>	提案団体のこれまでの知見・実績等を礎に、堅実な施設管理を継承するとともに、「進化する北九州市立ユースステーション」の実現を目指して、新たなプラットフォームづくりと諸活動に取り組みます。
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	
<b>【特定非営利活動法人 里山を考える会】</b> (以下、NPO 里山) <人的基盤> 持続可能性という観点から、未来を担う人財を育成する専門集団 <財産基盤> 令和元年度実績 収入 129,211 千円、当期純利益 310 千円、正味財産が 71,603 千円	
<b>【一般社団法人進路指導・キャリア教育支援機構】</b> (以下、OCES) <人的基盤> 教育に携わり 19 年の経験のある法人代表をはじめ、キャリア教育に携わる職員が在籍 <財産基盤> 令和元年度実績では、収入 7,028 千円、利益剰余金 394 千円 <ネットワーク基盤> これまでの活動実績により幅広い分野の団体等との連携、協働が可能	
(3) 実績や経験	
・NPO 里山は北九州市環境ミュージアム、生涯現役夢追塾などの指定管理者としての長年の運営管理に加え、国際分野や SDGs に関わる様々な教育・研修プログラム、イベント等の企画・運営実績有り。 ・OCESは、SDGsや現代社会と接続したプロジェクト学習を高等学校にて放課後開講。また、高校と上級校のマッチングを図るため、校内での進路・キャリアガイダンスを積極的に展開。	

### 2 管理運営計画の適確性について

【有効性】に関する取組み	
(1) ユースステーションの設置目的の達成に向けた取組み	
◆気軽に立ち寄れ、楽しみながら交流できる場の提供【交流】	・「多世代交流」「地域との交流」「多価値との交流」を通して“人とつながる”力を身に着ける事業を実施
◆さまざまな遊びや体験活動の場の提供【遊び・体験】	・活動のフィールドを広げ、「自分の好きなもの」「自分のやりたいもの」をみつける体験型事業を展開
◆自ら成長していくための学びの場の提供【学び】	・SDGs を中心テーマとする PBL(問題解決型、プロジェクト型)プログラムにより地域・社会課題に向き合い、その解決を探究する力の醸成を図ると共に、多様な分野の職業体験等の機会を提供
◆若者に係る情報の発信【情報発信】	主催事業への参加中高生の体験談などを発信。HP・SNS の効果的運用に加え、施設内の掲示等を活用
◆ユース運営委委員会の設置	

ユースステーションの若者による主体的運営、積極参加促進のため、ユース運営委員会(仮称)を組織。

#### ◆アドバイザーボードの設置

有識者や地域団体等をアドバイザーとして委嘱、プログラムや施設運営に関する助言、指導を仰ぐ。

#### ◆主催事業の実施方針等

- ・主催事業:8事業 24講座を開催 のべ参加人数 6230人(令和7年度時目標)
- ・昼間の時間帯にユースをサポートする大人や企業にアピールし、利用促進と多様な交流を深化。
- ・コロナ共存時代に対応した安全・安心の運営を行う。
- ・「ひとみらいプレイス」内関係機関をはじめ市内関連施設(東田ミュージアムパーク等)との連携あるいはオンラインプログラムの導入等により、来館利用以外の参加・活動機会の創出を図る。

#### (2) 利用者の満足度向上

- ・ユース運営委員会設置等により、利用者自らの選択に沿ったプログラム、行事を実施する。
- ・多世代のボランティアを起用し、多様なニーズへのきめ細やかな対応を図る。
- ・利用者の苦情又はアンケート等での声を「アドバイス」と捉え、プロセスを見える化し迅速に対応する。

### 【効率性】に関する取組み

#### (1) 管理運営(指定管理業務)に係る経費

- ・事務機能を本部で一部担うことにより事務費の負担を押さえ、現場を重視した職員配置とします。
- ・関係先と協働することで、費用を低減して事業を展開します。
- ・主催事業やユースステーション運営への協力・連携団体に対して働きかけ、施設利用を促進します。

#### (2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

- ・これまでの指定管理業務の受託経験・実績より実現可能な計画を算定。

### 【適正性】に関する取組み

#### (1) 管理運営体制

- ・施設管理実務責任者(事務局長)の下、適材適所の職員配置を行いマネジメントします。
- ・常勤職員4名は多機能とし、嘱託スタッフ等と共に柔軟なシフトワーク体制の構築を図ります。

#### (2) 平等利用、安全対策、危機管理体制

- ・個人情報保護に関しては、新たに「個人情報保護規定」を作成し、適正に管理します。
- ・ハードのバリアフリーだけでなく心のバリアフリーも大切に全ての利用者が使用できるようにします。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策マニュアルを整備し的確な実行を徹底します。
- ・危機管理対策として職員への防犯・防災研修を実施します。

#### 提案額(千円)

令和3年度	45,774千円
令和4年度	45,774千円
令和5年度	45,774千円
令和6年度	45,774千円
令和7年度	45,774千円